

畜産ネットワーク ちば

2019年5月24日
第45号

発行所 公益社団法人千葉県畜産協会
〒260-0021
千葉市中央区新宿1-2-3
K&T千葉ビル3階
発行人 森 英介



千葉県農林水産部
畜産課長 井出 基雄

《就任にあたっての挨拶》

畜産協会の会員及び畜産関係の皆様には、日頃から本県畜産の振興に御理解・御協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、本県の畜産産出額は平成29年に1,432億円と、全国第5位に位置し、農業産出額の約3割を占める重要な部門となっております。

しかしながら、畜産を取り巻く情勢は、主要な畜産物価格が好調であるものの、生産コストの高止まり、経営戸数・飼養頭数の減少、TPPや日EU・EPAなど国際化の急速な進展による影響等が懸念されるなど、生産基盤の強化が課題となっているところです。

また、国内では26年ぶりに豚コレラが発生し、近隣諸国ではアフリカ豚コレラが続発するなど、家畜伝染病への対策も一層重要視されているところです。

そこで、県では、千葉県農林水産業振興計画（計画年度30～33年度）に基づく施策を推進することとしており、平成31年度は主に次の対策に取り組んでまいります。

1 家畜の生産性向上と働き方改革の推進

今年度から、新たに夏季における暑熱対策に取り組むとともに、優良な家畜の確保・育成により家畜の生産性向上を図ります。また、ICTの活用や飼料生産コントラクターの育成等による作業の省力化や外部化を図ることにより、意欲を持って働ける魅力ある畜産経営の実現を目指します。

2 自給飼料等の生産・利用拡大

輸入飼料価格に左右されない安定した経営のために、畜産農家と耕種農家の連携を強化し、飼料用米や稲ホールクローブサイレージなどを活用した自給飼料の生産・利用拡大を推進します。

3 畜産クラスターを活用した高収益型畜産経営の確立

収益性の向上を図るため、畜産農家をはじめ、地域の関係業者が連携・結集した畜産クラスターの更なる構築と取組を強化します。

4 家畜伝染病に対する防疫体制の強化

家畜伝染病の発生予防及びまん延防止のため、防疫体制の強化に取り組みます。

県施策の推進につきまして、今後とも御理解と御協力を賜りますようお願いいたします。

最後になりますが、会員及び関係者の皆様並びに本県畜産の益々の御発展を祈念申し上げます。就任の挨拶とさせていただきます。

目次

- | | |
|--|------------------------------|
| 【1】 就任にあたっての挨拶 | 【9】 畜産経営体生産性向上対策と楽酪GO事業について |
| 【2】 令和元年度畜産協会事業推進体制 | 【10】 チバザビーフ協議会報 |
| 【3】 平成30年度第2回通常理事会開催
肉用子牛生産者補給金制度に係る保証基準価格等について | 【12】 NPC通信 |
| 【4】 肉用牛肥育経営安定特別対策（牛マルキン） | 【14】 NPO法人いきいき畜産ちばサポートセンター通信 |
| 【5】 皆様の農場は安全ですか？～防疫対策を考えてみましょう～ | 【15】 ちば畜産レディースネットワーク会報 |
| 【6】 令和元年度千葉県畜産関係機関一覧 | 【16】 新規職員紹介 |

令和元年度畜産協会事業推進体制

以下の体制で事業推進を図ります。よろしくお願いたします。(総務課 榎屋)

《 理事会 》

◆会長理事	森 英介 (非常勤)	◆副会長理事	4名 (非常勤)
◆理事	11名 (非常勤)	◆専務理事	松木 英明 (常勤)

《 委員会 》

- ◆家畜衛生評議委員会
- ◆養豚振興委員会

《 事務局 》

部署・職名等		氏名	主な業務の内容	
専務理事	(衛生指導課長兼務)	松木 英明	・本協会の総括	
事務局長	(総務・企画部長、総務課長兼務)	福島 達哉	・本協会業務の総括 ・畜産クラスター事業	
総務・企画部	総務課	調査役	榎屋 健太郎	
		主事	長嶋 柚子	
		臨時職員	藤代 直子	
	企画課	課長	武田 善秀	・肉用牛肥育の経営安定に関する事 ・畜産物の消費拡大に関する事 ・生産者、流通加工業者、消費者との相互理解促進 ・広報等
		主任主事	小倉 崇司	
		臨時職員	瀧口 麻美	
		臨時職員	胡口 常代	
事業部	部長	(経営・環境課長兼務)	岡田 望	・事業部の総括
	経営・環境課	技師 (企画課兼務)	飯沼 大輝	・畜産経営技術指導、支援等 ・担い手育成支援 ・飼料用米等の自給飼料生産の振興 ・家畜排せつ物法、生産者のコンプライアンス等
		嘱託職員	薫田 耕平	
	衛生指導課	臨時職員	高橋 早苗	・家畜の自衛防疫等の推進、指導等 ・死亡牛の処理円滑化事業
	生産課	課長	金杉 文一	・養豚の振興等 ・豚の登録、共進会等豚の改良に関する事 ・肉豚の価格補償に関する事 ・肉用牛の生産振興に関する事 ・肉用子牛の価格の安定、生産拡大等に関する事
		嘱託職員	加藤 脩三	
		臨時職員	高橋 真理	

《 畜産団体事務局及び担当者 》

★千葉県養蜂協会 (総務課 榎屋)	★ちば畜産レディースネットワーク (総務課 長嶋)
★千葉県畜産物消費拡大推進協議会 (企画課 武田)	★千葉県肉用牛損害賠償請求生産者会 (経営・環境課 飯沼)
★チバザビーフ協議会 (企画課 小倉)	★千葉県馬事畜産振興協議会 (経営・環境課 飯沼)
★NPO法人いきいき畜産ちばサポートセンター (経営・環境課 薫田)	
★千葉県自家検定推進協議会 (生産課 金杉)	★チバザポーク販売推進協議会 (生産課 金杉)
★ナイスポークチバ推進協議会 (生産課 加藤)	

《 連絡先等 》

TEL : 043-242-5417 (代)	[総務課]	FAX : 043-238-1255	[共通]
043-242-6333	[企画課]	Eメール : info@chiba.lin.gr.jp	
043-241-1738	[経営・環境課、衛生指導課]	URL http://chiba.lin.gr.jp	
043-241-3851	[生産課]		

わたしたち森久保薬品は
人と動物の「これから」を真剣に考えています。

 **森久保薬品株式会社**
http://www.morikubo.co.jp



平成30年度第2回通常理事会開催

平成31年3月4日、プラザ菜の花において、森会長出席のもと平成30年第2回通常理事会が開催され、平成31年度事業計画案及び収支予算案をはじめ全3議案が原案どおり承認されました。

昨年12月に公表された本県の平成29年畜産産出額は、1,432億円と前年を78億円上回り、過去最高を更新しております。

そのような中、昨年末にはTPP11が、そして本年2月1日には日・EUのEPAが発効し、輸入拡大による本県畜産への影響が心配されております。

これを踏まえ、国は、「牛マルキンや豚マルキンの法制化」、「肉用子牛生産者補給金制度における補償基準価格等の見直し」、「畜産クラスターの継続」などの対応を取ったところです。

また、2020年に予定されている東京オリンピック・パラリンピックの食材調達基準において、JGAPや農場HACCPの認証が求められており、当協会としましては、千葉県の指導の下に、関係組織と連携して認証取得を推進してまいります。

なお、当協会が事務局を持つチバザビーフ協議会は、同年秋に開催されます「東京食肉市場まつり2020」への参加を決めており、東京オリ・パラに向けた対応と併せ、ブランド力の向上、販売力の強化に努めてまいります。

中国におけるアフリカ豚コレラのまん延や中部地方で発生が認められた豚コレラについては、県内養豚農場への侵入が心配されているところですが、県の指導により、これら急性悪性伝染病やPEDなどの伝染性疾病の発生を想定し、防疫活動に必要な資材や器材の運搬用車両の導入を計画しました。

このように、平成31年度においては、畜産経営を支援する事業など、36事業を実施してまいります。

また、各種団体の事務局を務めることで、生産者等の連携をより強固なものとし、各種事業の普及を効率的、効果的に進めるとともに、生産者の要望・意見等の集約を図り、関係機関等への発信に努めてまいります。

さらに、緊急課題や当協会独自事業についても積極的に取り組み、様々な場面で関係各位の信頼確保に努めてまいります。（総務課 榎屋）

肉用子牛生産者補給金制度に係る保証基準価格等について

本制度は肉用子牛の価格が低落した場合に、生産者補給金を交付し、肉用子牛生産の安定等を図ることを目的としています。（企画課 武田）

～肉用子牛生産者補給金制度に加入して経営の安定をはかりましょう！～

● 肉用子牛の保証基準価格及び合理化目標価格

（単位：円/頭）

区分	黒毛和種	褐毛和種	その他の肉専用種	乳用種	交雑種
保証基準価格	531,000	489,000	314,000	161,000	269,000
合理化目標価格	421,000	388,000	249,000	108,000	212,000

注 平成31年10月に消費税率が8%から10%に引き上げられた場合には保証基準価格及び合理化目標価格について、消費税率引上げを反映させた所要の改定を行う。

● 生産者積立金・負担金

（単位：円/頭）

区分	黒毛和種	褐毛和種	その他の肉専用種	乳用種	交雑種
生産者積立金	1,200	4,600	12,400	6,400	2,400
負担内訳（割合） 国（機構）（1/2）	600	2,300	6,200	3,200	1,200
県（1/4）	300	1,150	3,100	1,600	600
生産者（1/4）	300	1,150	3,100	1,600	600

● その他

- 平成31年度が第6業務対象年間の最終年度になり、無事戻しの作業を行いますので、契約内容に変更がある場合は、事務委託先を経由して速やかに手続きをお願いします。
- 平成31年度は個人経営を中心に現地調査を行いますので、ご準備・ご協力をお願いいたします。

肉用牛肥育経営安定交付金制度（牛マルキン）

◆ 肥育牛補填金単価（旧事業）【平成30年10月～12月販売分】

（単位：円／頭）

区分		粗収益 (A)	生産コスト (B)	差額 (C)=(A)-(B)	補填金単価 (D)= (C) ×0.9
平成30年 10月	肉専用種	1,285,224	1,276,111	9,113	-
	交雑種	737,138	765,195	△28,057	25,200
	乳用種	462,383	499,910	△37,527	33,700
平成30年 11月	肉専用種	1,340,645	1,265,746	74,899	-
	交雑種	761,728	749,113	12,615	-
	乳用種	467,572	504,728	△37,156	33,400
平成30年 12月	肉専用種	1,345,651	1,259,105	86,546	-
	交雑種	795,133	734,384	60,749	-
	乳用種	461,652	505,860	△44,208	39,700

※補填金単価は100円未満切捨てです。

◆ 登録肉用牛1頭当たりの負担金単価【平成30年12月30日以降に納付期限を迎える牛】

TPP11の発行日（平成30年12月30日）をもって新たな法律制度である「肉用牛肥育経営安定交付金制度」がスタートいたしました。

生産者負担金についても、新たに次のとおり定められましたので、ご案内いたします。

（単位：円／頭）

品種区分	新単価	(新旧比較)	旧単価 (旧事業単価)
肉専用種	6,000	0	6,000
交雑種	17,000	△2,000	19,000
乳用種	19,000	△3,000	22,000

※負担金単価については、交付金の交付状況等を勘案し毎年度見直しが図られます。

上記新単価については、平成30年度（平成30年12月30日～平成31年3月31日に納付期限を迎える牛）・平成31年度（令和元年度）の適用となります。

◆ 交付金単価【平成31年1月～3月販売分】

（単位：円／頭）

区分		標準的販売価格 (A)	標準的生産費 (B)	差額 (C)=(A)-(B)	交付金単価 (D)= (C) ×0.9
平成31年 1月	肉専用種	1,253,643	1,213,356	40,287	-
	交雑種	766,756	727,611	39,145	-
	乳用種	452,66	513,084	△60,421	54,378.9
平成31年 2月	肉専用種	1,259,265	1,214,194	45,071	-
	交雑種	771,800	714,468	57,332	-
	乳用種	453,547	525,513	△71,966	64,769.4
平成31年 3月	肉専用種	1,251,475	1,215,077	36,398	-
	交雑種	760,567	713,246	47,411	-
	乳用種	444,661	526,910	△82,249	74,024.1

※交付金は1円単位で交付となります。

◆ 牛マルキン制度では繁殖雌牛や種雄牛は対象となりませんのでご注意ください！

牛マルキン制度は、肉用牛経営の安定を図る制度です。このため、肥育以外の目的に仕向けられた牛（繁殖雌牛や種雄牛）は交付金の交付対象となりません。（一部の一産取り肥育等は除く。）

繁殖雌牛や種雄牛を申し込んだ場合は、速やかに本会にご報告ください。すでに納付された負担金は返金できませんが、業務対象年間終了後の基金の残額の返還の対象にはなりません。

繁殖に仕向けたことの報告がなく、繁殖に仕向けたことが確認された場合、交付金交付契約を解除する場合があります。交付金交付契約を解除した場合、すでに納付した負担金の返金がないことに加え、業務対象年間終了後の基金の残額の返還もありません。（企画課 小倉）

皆様の農場は安全ですか？～防疫対策を考えてみましょう～

中国でアフリカ豚コレラが猛威を振るっています。

農水省動物衛生課が4月22日に発表した情報では、昨年8月3日以来、中国国内156か所（143農場、4施設、7村、1車両、野生イノシシ1か所）で発生しています。

中国当局の対応は、指揮団を派遣、発生地における封鎖、淘汰、無害化处理、消毒等、全ての豚及び感受性動物並びに畜産物について封鎖区域への出入り禁止等の措置を講じているとのことですが、感染した豚肉が流通していることも事実です。

すなわち、農水省動物検疫所が1月25日に中国から日本国内に持ち込まれ、任意放棄された豚肉製品（自家製豚ソーセージ等）4件からアフリカ豚コレラウイルスの遺伝子を確認し、さらにその内2件から生きたウイルスを分離したとのこと。

このことから養豚だけの問題ではなくなってきました。酪農・肉牛生産も心してかからなければなりません。

御承知のとおり、中国では口蹄疫も散発しています。直近では、今年の3月17日に牛での発生があり、平成30年から平成31年3月27日までに25件（うち、豚のみは7件）の発生が報告されています。

アフリカ豚コレラ感染豚肉が出回っているなら、口蹄疫も当然心配しなければなりません。

農場の防疫対策に「万全」はあり得ません。少しでも自分の農場を守るためにも今一度防疫対策を見直してみませんか？

家畜伝染病予防法では、家畜の所有者が衛生管理で最低限守るべき基準として「飼養衛生管理基準」が定められており、その遵守が義務づけられています。養豚で24、牛で33のチェック項目がありますが、漫然とチェックしていないでしょうか。

そこで、対策強化のために右記のとおり御提案させていただきます。

とにかく、防疫面での弱点を一つ克服することが大事です。防疫対策の場合、結果が見えるような場面が起きるのは困りますが、必ず次のステップが見えてくるでしょう！

ちょっとだけ、頑張ってみましょう！

（衛生指導課 松木）

1 考える時間を設けましょう

生産者の皆様方が、たとえば地元の組合の総会に出かけるといった予定を立てるように、防疫対策について考える時間を「何月何日の何時から1時間」といったようにあらかじめ決めておき、その時間を何よりも優先させます。

考える時間は、1時間程度とし、メモ用紙と鉛筆を用意しておきます。

2 考える対策はひとつだけとする

あれもこれもと欲張って考えると、まとまりません。

たとえば、農場内に病原体が侵入する危険な場面（作業）は何かについて、思いつく限り書き出してみましょう。書き出すことが重要です。その中で「これは相当危険だ」と思われるものをいくつか選び、すぐにでも対処すべきものからしばらくは大丈夫だと思われるものまで優先順位を付けてみます。その中から、すぐにやらなければならないことを見つけます。

3 どういう対策があるかを探してみます

考える時間は1時間です。

すぐにやらなければならないことが決まったら、どうやるかを考えます。ここでも書き出すことが重要です。頭の中にふわふわと漂っている考えをすくい上げ、文字に置き換えることでより具体的なものになってきます。

そうやって時間内に方法が決まればOK。時間オーバーでも熱が入ってきたら続けましょう。でも煮詰まってきたら、その日は素直にあきらめます。そして、また予定を立てましょう。

次に考える日までは、ひたすら人に聞いたり、ネットで探したりと自分の農場規模・形態・予算にあった対処方法を探すこととします。必ずしもお金をかけなくともできることがあるかもしれません。

瞳は未来を見つめてる。



動物 未来 みつめる ひろがる



動物用医薬品 製造販売

日本全薬工業株式会社
福島県郡山市安積町笹川字平ノ上1-1

平成31年度 千葉県関係機関一覧表①

■農林水産部

〒260-8667 千葉市中央区市場町 1-1

TEL	職名	氏名
043-222-2800	部長	半田 徹也
043-223-2801	流通販売担当部長	穴澤 幸男
043-223-2803	次長	櫻井 博幸
043-223-2804	次長	冨塚 浩一
043-223-2804	次長	崎山 一

■畜産課

〒260-8667 千葉市中央区市場町 1-1
FAX: 043-222-3098

部署・TEL	職名	氏名
043-223-2931	課長	井出 基雄
043-223-2929	副課長(事)	近藤 創
043-223-2930	副課長(技)	大澤 浩司
企画経営室 043-223-2926 043-223-2927 043-223-2777 043-223-2921	主幹兼室長	江森 美香
	主幹	菊地 里佳
	副主幹	藤田 澄代
	主査	河野 奈穂子
	主査	吉田 喜一郎
	副主査	新居 友明
	副主査	矢嶋 真二
	副主査	溝井 つかさ
	主事	保田 崇
	技師	藤田 圭佑
生産振興班 043-223-2939	班長	山崎 直
	主査	有路 優子
	副主査	新垣 裕子
	副主査	行川 貴浩
環境飼料班 043-223-2943 043-223-2944	班長	山口 倫子
	副主査	小林 夏奈子
	副主査	中原 祐樹
	技師	櫻沢 実奈
家畜衛生対策室 043-223-2923 043-223-2938	副技監兼室長	渡邊 和彦
	主幹	坂元 依子
	主査	石川 直子
	主査	萩原 妙子
	副主査	豊田 拓郎
BSE 対策本部 043-223-3084	副主査	塚原 涼子
	副主査	八木 健

■担い手支援課

〒260-8667 千葉市中央区市場町 1-1
FAX: 043-201-2615

部署・TEL	職名	氏名
043-223-2900	課長	小柳 享
農業経営支援班 043-223-2984	班長	齋藤 秀一
専門普及指導室 043-223-2912	副技監(兼)室長	堀越 明
	主席普及指導員	平野 和則
	主席普及指導員	川原 喜代巳
	主任主席普及指導員	高橋 大樹

■中央家畜保健衛生所

〒262-0011 千葉市花見川区三角町 656
TEL: 043-250-4141 FAX: 043-236-0090

部署	職名	氏名
	所長	森田 秀雄
	次長	篠原 栄里子
	主幹	小川 明宏

部署	職名	氏名
庶務課	課長	小澤 浩子
	主査	岸部 俊哉
衛生指導課	課長	藤野 晴彦
	専門員	猪熊 道仁
	技師	森 浩子
	技師	清田 和花
防疫課	課長事務取扱	篠原 栄里子
	専門員	木下 喜絵
	技師	山本 紗友里
	技師	齋藤 瞬

〒285-0072 佐倉市若富町 497
TEL: 043-498-1431 FAX: 043-498-1475

部署	職名	氏名
病理生化学課	次長	島田 純
	課長	平畠 淳
	上席専門員	関口 真樹
	専門員	綿村 崇宏
	主任技師	小山 祐介
	技師	本多 芙友子
	技師	高貴 秀幸
細菌ウイルス課	課長	松本 敦子
	主任技師	橋 美奈子
	主任技師	三浦 良彰
	技師	宗像 寛人
	技師	岡本 みさき
	技師	畑中 ちひろ

■東部家畜保健衛生所

〒283-0064 東金市川場 1105-3
TEL: 0475-52-4101 FAX: 0475-52-3335

部署	職名	氏名
	所長	芦澤 尚義
	次長	原 普
	主幹	小島 洋一
衛生指導課	課長	古屋 聡子
	主査	鎌田 清子
	専門員	未政 奈津美
	主任技師	中山 雄大
	主任技師	関谷 圭美
	主任技師	中島 有美子
	主任技師	佐藤 沙樹
	技師	山桐 慶之
防疫課	課長事務取扱	原 普
	専門員	西川 潤
	専門員	阿部 敬
	技師	清水 耕平
	技師	高梨 優希

■南部家畜保健衛生所

〒296-0033 鴨川市八色 52
TEL: 04-7092-2304 FAX: 04-7092-1434

部署	職名	氏名
衛生指導課	所長	片山 雅一
	次長	市沢 三香
	課長事務取扱	市沢 三香
	上席専門員	田中 なほ子
	専門員	篠崎 康雄
	専門員	瀧口 由貴
	主事	大川 梓
	技師	土肥 世生
	技師	大矢 美帆

平成31年度 千葉県関係機関一覧表②

部署	職名	氏名
防疫課	課長	小谷 嘉宏
	専門員	福井 陽士
	技師	清水 貴文
	技師	不破 友介
	技師	谷水 友也

■ 北部家畜保健衛生所

〒287-0004 香取市岩ヶ崎台 12-1
TEL : 0478-54-1291 FAX : 0478-54-5996

部署	職名	氏名
	所長	青木 ふき乃
	次長	武石 佳夫
衛生指導課	課長	笠井 史子
	副主幹	成毛 弥生
	上席専門員	関野 友利華
	専門員	中代 浩之
	主任技師	青木 朋子
	技師	佐々田 由美子
	技師	中村 みどり
	技師	木下 智秀
防疫課	課長	菅 賢明
	専門員	渡邊 世奈
	技師	岩間 亮祐
	技師	平木 崇

■ 畜産総合研究センター

〒289-1113 八街市八街へ 16-1
TEL : 043-445-4511 FAX : 043-445-5447

部署	職名	氏名
	センター長	富田 耕太郎
	次長(事)	相原 考一
	次長(技)	渡辺 博剛
総務課	課長事務取扱	相原 考一
	副主幹	井桁 薫
	主査	今関 博子
	主事	金谷 友喜
	主事	佐藤 和希
企画環境研究室	室長	斉藤 健一
	上席研究員	丸山 朝子
	上席研究員	青木 大輔
	主任上席研究員	井口 明浩
	主任上席研究員	小野寺 道寛

■ 千葉農業事務所

課名	所在地	職名	氏名	TEL	FAX
企画振興課	〒266-0014 千葉市緑区大金沢町 473-2	副主幹	杉本 清美	043-300-1985	043-293-3916
改良普及課		普及指導員	君塚 時江	043-300-0950	043-293-2710
		普及技術員	大畑 絵美		

■ 東葛飾農業事務所

課名	所在地	職名	氏名	TEL	FAX
企画振興課	〒277-0861 柏市高田 990-1	副主幹	嶋村 和彦	04-7143-4122	04-7144-8260
改良普及課		普及指導員	佐野 実乃里	04-7162-6151	04-7162-6154

■ 印旛農業事務所

課名	所在地	職名	氏名	TEL	FAX
企画振興課	〒285-0026 佐倉市鍋木仲田町 8-1	副主幹	鈴木 一好	043-483-1129	043-485-9502
		技師	高田 まどか		
改良普及課		普及指導員	岸田 雅弘	043-483-1128	043-485-9502
		普及指導員	小野 英吾		
		普及指導員	花本 威士		
		普及技術員			

部署	職名	氏名
企画環境研究室	研究員	長谷川 輝明
	研究員	名取 美貴
	研究員	中山 妙子
	研究員	山崎 藍子
	研究員	田中 航輝
乳牛肉牛研究室	室長	森 知夫
	上席研究員	大坪 岳彦
	研究員	倉地 充
	研究員	小林 大誠
	研究員	犬飼 愛
養豚養鶏研究室	研究員	諸岡 佳恵
	室長	鈴木 和美
	研究員	伊藤 香葉
	研究員	松本 千明
	研究員	小形 次人
	研究員	吉田 早希
	研究員	竹尾 駿
	研究員	市原 光一

■ 畜産総合研究センター 市原乳牛研究所

〒290-0531 市原市国本 602

TEL・FAX	職名	氏名
TEL : 0436-96-1231 FAX : 0436-96-0956	所長	市原 裕二
	主幹	永福 和明
	主査	小野寺 千枝
	主任上席研究員	渡邊 晴生
	主任上席研究員	斉藤 公一
	研究員	久保田 尚
	研究員	関根 大介
	研究員	三根 琴美

■ 畜産総合研究センター 嶺岡乳牛研究所

〒299-2507 南房総市大井 686

TEL・FAX	職名	氏名
TEL : 0470-46-3011 FAX : 0470-46-3012	所長	川嶋 賢二
	主査	野澤 浩史
	主任上席研究員	平尾 明
	主任上席研究員	渡辺 聡
	研究員	中橋 冬陽
	研究員	時田 瞳
	研究員	山本 啓悟

平成31年度 千葉県関係機関一覧表③

■ 香取農業事務所

課名	所在地	職名	氏名	TEL	FAX
企画振興課	〒287-0005 香取市佐原木 1250-3	副主幹	柴田 るり子	0478-52-9192	0478-54-5617
		主査	野村 俊介		
改良普及課		主任上席普及指導員	菅谷 茂明	0478-52-9195	0478-55-1703
		普及技術員	谷本 智里		

■ 海匠農業事務所

課名	所在地	職名	氏名	TEL	FAX
企画振興課	〒289-2504 旭市二 1997-1	副主幹	畑野 克巳	0479-62-0156	0479-64-2502
		副主幹	大川 達		
改良普及課		GL	宮本 光浩	0479-62-0334	0479-62-4482
		普及指導員	小池 広明		
		普及技術員	野口 航平		

■ 山武農業事務所

課名	所在地	職名	氏名	TEL	FAX
企画振興課	〒283-0006 東金市東新宿 1-11	主査	村中 洋美	0475-54-1122	0475-55-8614
		副主査	大河原 澄香		
改良普及課		主任上席普及指導員	藤 順一	0475-54-0226	0475-52-7914
		普及指導員	村田 美里		

■ 長生農業事務所

課名	所在地	職名	氏名	TEL	FAX
企画振興課	〒297-0026 茂原市茂原 1102-1	主査	松本 友紀子	0475-22-1751	0475-26-2234
		主任上席普及指導員	渡邊 健一郎	0475-22-1771	0475-25-2061

■ 夷隅飾農業事務所

課名	所在地	職名	氏名	TEL	FAX
企画振興課	〒298-0293 夷隅郡大多喜町猿稻 14	副主幹	千葉 耕司	0470-82-4956	0470-82-5348
改良普及課		普及指導員	三浦 千秋	0470-82-2213	0470-82-3975

■ 安房農業事務所

課名	所在地	職名	氏名	TEL	FAX
企画振興課	〒294-0045 館山市北条 402-1	副主査	田仲 景士郎	0470-22-7131	0470-22-0097
		技師	加藤 久美子		
改良普及課		普及指導員	野中 太輔	0470-22-8132	0470-22-0097
		普及技術員	後藤 衛		

■ 君津農業事務所

課名	所在地	職名	氏名	TEL	FAX
企画振興課	〒292-0833 木更津市貝淵 3-13-34	技師	川瀬 晶	0438-25-0107	0438-23-6698
改良普及課		GL	金子 貴一	0438-23-0299	0438-23-6698
		普及指導員	羽深 真里		


(公社) 中央畜産会からのお知らせ

約70作を公開中！
随時更新します


畜産現場の“今”を30分の番組にしました

がんばる！畜産！2

★皆川牧場(酪農/船橋市)、千葉NOSAI石山大先生にも密着★
★各種セミナーや研修会にも！★



スマートフォンからはこちら▶
パソコンからはこちらで検索

がんばる畜産 

畜産経営体生産性向上対策について

酪農家や肉用牛農家の労働負担軽減・省力化に資するロボット・AI・IOT等の先端技術の導入や、畜産農家に高度かつ総合的な経営アドバイスを提供するためのビッグデータ構築を支援します。

< 事業の内容 >

1. 畜産経営体の生産性向上対策

- 畜産農家の省力化・生産性向上を図るため、以下の取組を支援します。
- ① 搾乳ロボット・発情発見装置等のICT関連機械の導入
- ② 畜産農家のICT化に向けた調査
- ③ IOT機械装置の規格にあった家畜生産等の推進

2. 全国データベース構築

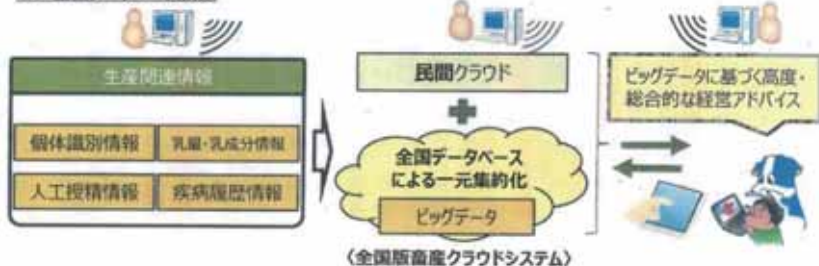
- 生産関連情報を一元的に集約する全国データベースの構築及びデータベースに基づき高度な経営アドバイスを提供する体制の構築等を支援します。

< 事業のイメージ >

1. 畜産経営体の生産性向上対策



2. 全国データベース構築



酪農労働省力化推進施設等緊急整備対策事業（楽酪GO事業）について

- 酪農家における労働負担軽減に資する省力化機械装置の導入と一体的な施設の整備を支援。
- 乳用後継牛育成の負担軽減のため、育成牛の受入体制の強化を図る取組等を支援。

省力化機械装置と一体的な施設整備

施設の補改修・増築等



・既存の施設では省力化機械装置の性能が十分に発揮されない

- （例）
- ・通路が狭すぎてロボットの搾乳区域手前で牛が渋滞。
 - ・牛舎の強度不足でレール式の大型・高効率の機械を導入できない。

（施設と一体整備の必要のない餌寄せロボット、発情発見装置、分娩監視装置等は対象外）



【搾乳ロボット】



【ミルクングパーラー】



【搾乳ユニット搬送レール】



【ほ乳ロボット】
※レール式のもの



【自動給餌機】

その他

育成体制の強化

後継牛の育成体制を強化するため、**1 牛舎等の補改修**
搾乳牛舎から育成牛舎への変更に伴う内装の補改修等

2 省力化機器の導入
自動給餌機、ほ乳ロボット等の省力化機器の導入

3 放牧場・運動場の整備
電牧柵、牧草種子などの資材導入





チバザビーフ協議会報

チバザビーフ協議会は千葉県産の「うまい牛肉」のPR活動を行っています。



◆第9回チバザビーフ枝肉共励会及び前夜祭の開催

【前夜祭】(H31.3.26) [第一ホテル東京シーフォート]

東京食肉市場関係者及びチバザビーフの取扱業者をはじめ、千葉県、協賛・協力団体、生産者等より約100名の出席をいただき、開催いたしました。来場者には、ホテルのシェフに特別に調理をお願いした「かずさ和牛」の鉄板焼き、「北総牛」のローストビーフ、2つの銘柄牛が食べ比べできる冷しゃぶを召し上がっていただきました。

また、生産者から各銘柄牛の紹介、チバザビーフPR大使「コズミック☆倶楽部」による応援ステージなど、翌日の枝肉共励会の成功に向けたPRを行いました。



【枝肉共励会】(H30.2.20) [東京都中央卸売市場食肉市場 (審査講評・褒賞授与式は東京食肉センタービル8階会議室)]

出品頭数：80頭（黒毛和種39頭、交雑種41頭）

〈黒毛和種の部〉

(単位：円)

受賞	生産者名称	枝肉単価	枝肉金額	買受人	褒賞
最優秀賞	(株)高梨牧場	3,133	1,876,667	宮畜産(株)	農林水産大臣賞 千葉県知事賞 公益社団法人千葉県畜産協会長賞
優秀賞 1席	(株)高梨牧場	2,902	1,709,278	(株)日山畜産	東京都中央卸売市場 市場長賞 東京食肉市場株式会社 社長賞
優秀賞 2席	(株)大川畜産	2,797	1,641,839	(株)日山畜産	公益社団法人日本食肉格付協会長賞
優良賞 1席	IWABUCHI FARM(株)	2,945	1,443,050	(株)コシツカ	千葉県家畜商協同組合 理事長賞
優良賞 2席	井村 幸雄	2,712	1,613,640	(株)富作商店	千葉県肉牛生産農業協同組合長賞

〈交雑種の部〉

(単位：円)

受賞	生産者名称	枝肉単価	枝肉金額	買受人	褒賞
最優秀賞	越川 和行	2,019	1,239,666	(株)ミートナイトウ	関東農政局長賞 千葉県知事賞 公益社団法人千葉県畜産協会長賞
優秀賞 1席	増田 俊一	1,785	1,212,015	宮畜産(株)	東京都中央卸売市場 食肉市場長賞 東京食肉市場株式会社 社長賞
優秀賞 2席	糸賀 光男	1,702	1,022,902	マルイミート(株)	全国畜産農業協同組合連合会長賞
優良賞 1席	(株)御子神畜産	1,637	995,296	マルイミート(株)	全国農業協同組合連合会 千葉県本部長賞
優良賞 2席	(株)宇井畜産	1,770	1,001,820	(株)オーエムアイ	千葉県と畜場協会 会長賞



◆県産牛肉消費拡大イベント活動報告

各種イベント等に参加・協力し、県産牛肉の知名度向上を図っています。

☆プレゼントキャンペーンの実施(H31.2.1~28)

日頃からチバザビーフの取扱いのある飲食店に協力をいただき、キャンペーンを実施いたしました。

応募数 303通

協力店 10店

- ① かずさ牛工房 牛匠しらいし (君津市)
- ② 肉の匠将泰庵 船橋はなれ店 (船橋市)
- ③ 焼肉レストラン新羅 (千葉市)
- ④ かずさ炭焼きステーキ 照葉樹 (木更津市)
- ⑤ チェルカトローヴァ (鴨川市)
- ⑥ 小六茶屋 (千葉市) ・道の駅いちかわ (限定オープン、市川市)
- ⑦ 茶寮 たわら屋 (市原市)
- ⑧ Cosmic Parasol Cafe (コズミック パラソル カフェ、柏市)
- ⑨ カフェ ランプ (鴨川市)
- ⑩ ガブ飲みビストロ酒場 ねぎらいや (千葉市)



また、応募に際しチバザビーフの知名度等を問うアンケート調査をあわせて実施、多くの方に感想・要望欄にまでコメントをいただきました。ポジティブなものでは、当該キャンペーン実施に賛同する意見や、千葉の色々な銘柄を食べ比べたいなどの意見があがり、さらには有名ブランド牛に負けていないとの声もありました。ネガティブなものでは、知名度の低さが決定的で「知らない」「食べたことがない」との意見が圧倒的に多く、食べたなら美味しいのに(ポテンシャルは高いはずなのに) もっとPRしてほしいとの声が多数ありました。



☆成田ゆめ牧場「第19回全国穴掘り大会」(H31.2.3)

今年も成田ゆめ牧場が主催する穴掘り大会に協賛し、参加チームへ県産牛肉があたるラッキーチーム賞と、チバザビーフ特別チーム(チバザビーフPR・柏市ご当地アイドル『イチトキ!』参加)の記録を当てる企画の2本立てで県産牛肉を提供・PRしました。



☆船橋競馬場「かしわ記念」(R1.1.5.6)

船橋競馬場にて農林水産大臣賞典「第31回かしわ記念」が開催され、昨年の覇者『ゴールドドリーム』(C.ルメール騎手騎乗)が連覇を達成! 馬主に副賞として『チバザビーフ』が贈られました。



☆成田空港「AIRPORT MARKET~空市~」(R1.5.12)

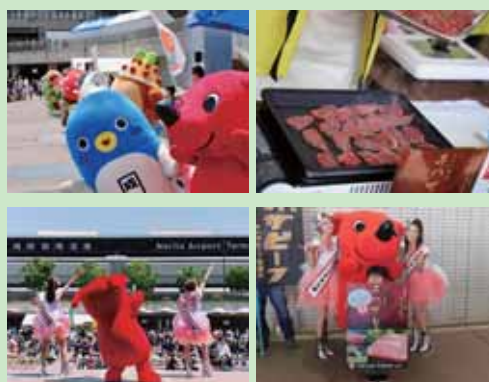
空市は、成田空港周辺地域(千葉県:13市町、茨城県7市町)や、JALやANAなどの航空会社、その他の関係団体等が参加。

チバザビーフも、今回で3回目の出店となり、県産牛肉の焼肉販売に加え、PR大使「コズミック☆倶楽部」によるステージイベント等、県産牛肉のPRに努めました。

当日は好天に恵まれ、来場者数は昨年を上回る1万人を超え、過去最多となりました。

焼肉販売も用意した20kg(約200食分)の牛肉が開場から3時間足らずで完売となるほど、大変好評いただきました。

最後にお楽しみ抽選会が行われ、チバザビーフ賞として焼肉に使用した牛肉と同じ『しあわせ絆牛』が贈られました。(当日は目録のみお渡し、後日配送。)

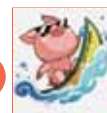


◆公式ホームページ

下記アドレスまたは右記のQRコードよりアクセス下さい。(事務局 小倉)

☆イベント情報・取扱店情報 <http://chibathebeef.jp/>





1 千葉県養豚大会への協賛開催 (2019.2.22)

山武市「さんぶの森文化ホール」において、疾病に対する危機意識をより高める目的で開催された。主に北総地域でPEDがまん延する状況から、生産者の参加が少なかったものの生産者、関係者(県・関係団体・賛助会員)総勢122名が参加された。

来賓の挨拶において、農林水産省動物検疫所成田支所田中 寿一所長は中国全土に感染拡大しているアフリカ豚コレラの水際対策として春節のこの時期、中国から日本へ不法に持ち込まれる肉類の取り締まり強化の状況に触れ、ご挨拶をいただいた。

今回、宮崎大学産業動物防疫リサーチセンター副センター長防疫戦略部門 教授 獣医学博士 末吉 益雄先生から「**忘れていている口蹄疫の脅威・・・2010年の教訓**」と題しご講演をいただいた。2010年の口蹄疫、発生現場からの生々しい状況が蘇り、このような疾病を二度と繰り返してはならないとの意を強くする講演となった。26年ぶりに国内で発生した「豚コレラ」、そして新たにアフリカ豚コレラの侵入危機が心配される状況でもあり、参加者一人一人が強く現状の危機意識を高める大会となった。



2 2019年度サポーター会員制度募集 (2019.2.20~23)

2006年からスタートした「サポーター会員制度」は14年目に入り、今年も限定100名の募集を行った。

2月中旬にバイFMで告知インターネットでの申し込みを受け付けたところ、募集3日で定数(最終会員数115名)に達しました。今回応募された会員は次のような結果でありました。



《ベスト3》 会員区分：女性86.9% ・ 男性13%

会員居住地域 ★船橋市：35名 ・ 市川市：14名 ・ 市原市：10名

会員の年齢 ★40歳代：48.6% ・ 30歳代：22.6% ・ 50歳代：16.5%

家族の人数 ★4名：46.9% ・ 3名：27.8% ・ 5名：13.0%

3 豚舎用日本型洗浄ロボット実演会開催 (2019.3.20)



埼玉県さいたま市にある農研機構農業技術革新工学研究センターで開催された。

国内でも大規模養豚経営では、海外製の豚舎洗浄ロボットを導入している。しかし、車体が大きかったり、価格が1000万円以上したりして、中小規模には普及していない。コンパクトで操作性が良いことを重視し、開発を進めてきた。午前中、洗浄ロボット開発の

経緯、特徴に加え午後からは開発機の実演に関心のある県内生産者が参加した。今回3種類の洗浄ロボットが登場。豚舎の洗浄は、豚の病気のリスクを減らすのに重要な作業となる。まずは、低価格を実現し農家における省力化に大いに貢献してほしいものであるが、開発と実用化に時間がかかりすぎるとの声も聞かえている。

4 平成31年度県定期人事異動に伴い関係部署へ挨拶 (2019.4.18)



県定期人事異動に伴い、関係部署へ挨拶のため、半田県農林水産部長、井出畜産課長を訪問した。懇談の中では、なかなか終息しないPEDであるが、県の消毒ポイント設置の対応について松ヶ谷会長代理から半田部長に御礼を申し上げた。

深刻な状況にある岐阜、愛知での豚コレラ、日本への侵入が心配なアフリカ豚コレラと明るいニュースに欠ける状況ではあるが、5月の県産豚肉消費活動イベント開催について協力をお願いした。また、生産者にとって最大の懸案事項は疾病問題であり、豚コレラの封じこ

め、アフリカ豚コレラの国が行う水際対策による侵入防止、最悪の状況を常に想定された準備と対策を強くお願いした。半田部長から、個々にバイオセキュリティをより一層強化していくよう要望された。



5 養豚農業振興議員連盟への要請 (2019.4.24)

平成31年4月24日(水)東京四谷「主婦会館プラザエフ」において自民党養豚農業振興議連総会が開催され、日本養豚振興政治連盟(トンセイレン)会長:志澤 勝氏ほか役員16名に加え岐阜、愛知両県の生産者他関係者26名、(一社)日本養豚開業獣医師会(JASV)呉 克昌代表理事他役員5名、事務局4名総勢50名を超える養豚関係者が豚コレラワクチンの地域・期間限定での実施を強く求める要請を行なった。緊急要請は、内閣府特命担当大臣自民党養豚農業振興議員連盟 宮腰 光寛会長宛に提出。



要請文は、愛知県及び岐阜県を中心に発生している豚コレラは、終息の目途が立たず県下の生産者は不安の中、日々防疫対策に奔走し疲弊していることを重く受け止め、迅速に下記の対策を講じていただきますようお願い申し上げます。

1. 豚コレラ緊急ワクチンの接種を地域及び期間を考慮して早急を実施すること。
2. 4月9日開催の衆参両議員農林水産委員会で決議された豚コレラをはじめ家畜伝染病対策に関する7項目を早急に実施すること。



意見交換の中では、岐阜、愛知選出の国会議員を中心に要請内容に沿った意見が出されたが、「豚へのワクチン使用については、まん延防止のために使用する選択肢はあるが、まだその時期とは考えていない」との農水省の回答に終始した。

より、生産者の声を理解願うべく、岐阜・愛知の銘柄豚しゃぶしゃぶ鍋を囲みながら、国会議員、農水省担当官と意見を交わした。

6 イースタンリーグ公式戦2019in習志野での県産豚肉消費拡大 (2019.5.11)



千葉ロッテマリーンズは、多くの子供達にマリーンズを身近に感じてもらう機会を提供することを目的として、イースタンリーグを各地で開催している。ナイスポークチバ推進協議会は今年も小中学生への招待券配布事業に特別協賛し、併せて千葉県産(国産)豚肉の消費拡大活動を行った。

このイベントへの参加は5年目になり、秋津野球場は始めてであった。

今季で引退が決まった千葉ロッテ福浦選手の思い出の地であるこの球場で試合前のセレモニーがあり、それを目当ての多くのファンの長い列が朝早くから

できた。出店ブースでは午前10時頃から焼き肉販売、クイズ・アンケートでの抽選会と昨年以上に多くのファンが訪れた。始球式は横芝光町の「白浜スポーツ少年団」の監督・選手と父兄30名が参加し、ファーストピッチセレミニーには6年生の緒方・早川バッテリーが見事な投球を披露し、会場から大きな歓声と拍手が起きた。午後1時の試合開始まで、強い日差しの中、焼き肉も好評で千葉県産の豚肉を大いにアピールすることができた。

○アンケート結果の一部

(回答者83名 男性48名・女性35名)

《設問1》あなたは豚肉(ポーク)は好きですか。

ア. すごく好き	イ. それほどでもない	ウ. きれい
81名(88%)	2名(12%)	0名(%)

《設問2》千葉県が全国第3位の豚肉生産県であること。

ア. 知っていた	イ. 初めて知った	ウ. 驚いた
29名(12%)	38名(69%)	16名(19%)



NPO法人いきいき畜産ちばサポートセンター通信

○平成31年度第1回役員会の開催

期 日:平成31年4月24日(水)

場 所:公益社団法人千葉県畜産協会会議室

出席者:理事8名、監事1名、来賓:農林水産部畜産課 企画経営室 主幹 菊池里香 様、
公益社団法人千葉県畜産協会 専務理事 松木英明 様

議 案:平成30年度実績について 令和元年度事業計画について
令和元年度総会提出議案について 令和元年度第1回畜産研修会について

○平成30年度の主な実績

(1) 畜産研修会

【第1回】

平成30年6月21日 総会終了後 千葉市生涯学習センター 小ホール

出席者:会員、県、関係団体等 56名、

演 題:「JGAP家畜・畜産物について」

～持続可能な畜産のためのJGAP認証～

(一財)日本GAP協会 畜産グループ 獣医師 朝日 光久 先生



【第2回】

平成31年2月20日 千葉市生涯学習センター 小ホール

出席者:会員、県、関係団体等 43名

演題1:「中国の牧場で遭遇した口蹄疫のような症例について」

NPO法人いきいき畜産ちばサポートセンター 岩瀬 慎司 氏

演題2:「TPP11、日EU・EPAと和牛肉の輸出」

日本畜産物輸出促進協議 理事長 南波 利昭 氏

(公益社団法人畜産技術協会 会長)



(2) 平成30年度農場HACCP構築指導

- ① 本指導は(公社)千葉県畜産協会からの依頼に基づき農場HACCP推進農場の指定又は認証を希望する農場へ指導員を派遣し、構築の指導・助言・提言を行うもので、県内への農場HACCP普及推進に努めました。

45農場:酪農4件、肉用牛16農場、豚21件、採卵鶏3件、ブロイラー1農場

- ② 指導員派遣:NPO会員農場HACCP指導員15名(延468回)

- ③ 農場HACCP・JGAP講習会への講師派遣:NPO会員講師 延6名派遣 講習会数5回

(3) 死亡牛等の受入及び保管等補助業務委託(千葉県の公募事業を受託)

本事業は、中央家畜保健衛生所(佐倉)で実施している死亡牛等の受入及び保管等の業務を補助する内容で、平成27年8月中旬から取り組んでいます。

NPO会員5名・258日派遣

(4) 野生獣衛生体制整備推進確立対策事業

地域衛生対策技術連絡委員、獣医師等が参加して、地域での野生獣の連絡協議会の参加や、野生獣(イノシシ24頭、シカ20頭)を採材して疾病の調査に協力をしました。

採材等4名、延54日

(5) JGAP認証構築・GAPチャレンジシステム指導支援

県及び(公社)千葉県畜産協会の要請に基づき、一部希望農場への構築支援を実施しました。

- ① JGAP認証構築支援:3農場
- ② GAP取得チャレンジシステム支援:8農場

(→次頁に続く)

令和元年度総会及び第1回畜産研修会のお知らせ

1 令和元年総会

日時：令和元年6月20日(木)13時30分から

場所：TKP千葉駅東口ビジネスセンター4階「カンファレンスルーム4E」

千葉市中央区新町1-20 江澤ビル4F(JR千葉駅東口徒歩4分)

第1号議案 平成30年度事業報告並びに収支決算報告の承認について

第2号議案 令和元年度事業計画(案)並びに令和元年度収支予算(案)の承認について

第3号議案 会費の額及び納入日について

第4号議案 役員の改選

2 第1回畜産研修会

日時：令和元年6月20日(木)14時30分頃から(総会終了後)

場所：総会会場(TKP千葉駅東口ビジネスセンター4階)

演題1 (仮称)「前全農家畜衛生研究所 佐々木隆志氏の研究内容」

講師：NPOいきいき畜産ちば会員 佐々木 隆志 様

演題2 (仮称)「国際化対応の家畜改良」

講師：一般社団法人 家畜改良事業団理事長 伊地知 俊一様

なお、畜産研修会終了後(16時30分頃)、「情報交換会」を予定していますので、是非こちらにもご参加ください。

◎入会申込み・畜産に関する御相談等をお待ちしております。

【お問い合わせ】NPO法人いきいき畜産ちばサポートセンター事務局((公社)千葉県畜産協会内)

TEL：043-241-1738 FAX：043-238-1255

現会員数：79会員(正会員76、賛助会員3)



ちば畜産レディースネットワーク会報 通算第28号



モ～モ～ブ～ブ～コケッコ～



千葉県内の畜産に携わる女性のみなさんの会報です。



活動予定

◆平成30年度視察研修会

平成31年1月31日(木)に視察研修会を開催いたしました。本年度は君津市方面へ行きました。

レディースネットワークの会員には、畜産物加工品を作り直売所等で販売している方が多くいらっしゃいます。自分も直売所に卸しているが、県内のほかの直売所の様子を知りたい・見たいという声上がり、君津方面にあります市町村や農協の運営している直売所等の視察をメインとしました。うまきたの里(木更津市)・ゆりの里(袖ヶ浦市)・JA君津味楽団さだもと店(君津市)、3つの直売所を視察しました。味楽団さだもと店ではチバザビーフやチバザポークを量り売りしている「全農お肉工房」があり、店長(JA職員)のお話も伺いました。それぞれの直売所の魅力や工夫点、品ぞろえや価格、品質等々みなさん様々な刺激のあった様子でした。

また、直売所等視察の他には、和蔵酒造酒菜館で酒蔵見学や、佛母寺で家畜の健康・安全を祈りお参りをしました。(事務局 長嶋)



- 新規職員紹介 -

【事業部長 岡田 望】

今年4月から畜産協会にお世話になっています岡田と申します。

35年間の県庁職員としての勤務を終え、3月末に畜産総合研究センターを退職いたしました。在職中は、皆様方に大変お世話になり、ほんとうにありがとうございました。

また、新たに畜産関係の仕事に従事させて頂くことになり、関係者の皆様に感謝いたします。

畜産を取り巻く情勢がますます厳しさを増している現在、今まで培ってきた知識と経験を活かし、各関係団体と連携しながら、畜産振興に少しでも役に立てればと考えていますので、今後ともよろしくお願いいたします。

酪農課、肉用牛農家の皆様へ

牛トレーサビリティ制度 あなたの牛は大丈夫？

牛トレーサビリティ制度は、色々な場面で活用されています。
牛の出生や異動の届出は、速やか、かつ正確に行いましょう。



牛トレーサビリティ制度に関するお問い合わせは…

- ・ 農林水産省関東農政局安全管理課 TEL : 048-600-0600 (内線 : 3219)
- ・ 関東農政局千葉支局 牛トレーサビリティ110番 TEL : 043-224-5611

◇牛の管理者には、牛トレーサ法に基づく耳標の装着及び各種届出が義務付けられています。

◇届出をせずに、又は虚偽の届出をした場合には牛トレーサ法に基づく罰則の対象となります。

◇さらに、各種補助金の対象から除外されたり、返還を求められる場合もあります。

「食の安全・安心」のための第1歩は、
「法令遵守」であることを
改めて認識してください。

地方競馬の収益金は
畜産の振興に
役立っています。



本誌「畜産ネットワークちば」に広告を 掲載していただだけませんか！

年3回発行（春、秋、新年）。掲載は、頁最下段にこの大きさ（170mm×45mm）で。

掲載料1回1万円（1回単位で申し込めます）

お問い合わせは、千葉県畜産協会 総務・企画部まで（TEL 043-242-5417）

部 署		TEL	FAX
総務・企画部	総 務 課	043-242-5417 (代)	043-238-1255
	企 画 課	043-242-6333	
事 業 部	経 営 ・ 環 境 課	043-241-1738	
	衛 生 指 導 課	043-241-1738	
	生 産 課	043-241-3851	

Eメール : info@chiba.lin.gr.jp

URL <http://chiba.lin.gr.jp>